

オリエンタルコンサルタンツと大日本印刷、三十三銀行、ヴィソン多気、MRTなどは、デジタル田園都市国家構想・三重広域連携モデル事業を運営する「一般社団法人三重広域DXプラットフォーム（代表理事・山口貢三重テレビ放送社長）」を設立した。三重県中・南部に位置する多気町、大台町、明和町、度会町、紀北町の5町を一つの仮想自治体「美村（びそん）」と位置付けてブランド化し、デジタル技術を活用して地域の魅力を全国、全世界に発信していく。

各種社会課題の解決に向け、行政区域の枠を越えて連携する5町の取り組みをさらに推進する。多気町に2021年開業した年間約350万人が来場する複合リゾート施設「VISION（ヴィソン）」を最大限に生かし、5町の広

オリコンサルら運営組織設立

デジタル田園都市・三重広域連携モデル促進 「美村」ブランド 国内外に発信

域連携エリア全体も「美村」として、住民と観光客にとって魅力的な地域づくりを強化。各町の山海の美しい自然や文化財などの魅力を国内外に伝えていく。

取り組みの初弾では、住民や観光客に対するユーザーインターフェースとして「美村」ブランドで統一したデジタル地域通貨の導入や、住民が主体となって地域の魅力を国内外に発信する地域・観光ポータルサイトを開設する。

蓄積したデータを活用し、ポータルサイトの改善やサービスの利便性を向上させるとともに、23年度以降は観光・生活の両面からデジタル基盤を進展させ、マイナンバーカードを活用した地域の周遊促進・公助のデジタル化や、地域の新たな収益構造の構築に取り組む。